

平成24年度佐賀県学習状況調査(5年生)

分析結果と今後の対応について

【小城市立芦刈小学校】

国語

○県平均を大きく下回っている。
○「話すこと」「書くこと」「読むこと」「漢字や言葉に関すること」のすべての内容・領域で県平均を下回っている。
○説明文を読んで内容を答えることや手紙の目的に合わせた内容を判断することやローマ字の読み書き、言葉に関する知識が不十分である。

★今後の対応

- ①「よみときタイム」で、長い文章を読んで段落をまとめごとに分けたり要点をまとめたりする活動を取り入れる。
- ②文章構成や要点をまとめて書く学習の充実を図る。
- ③国語辞典を手元に置かせ、必要に応じてすぐ調べることができるようにする。
- ④「漢字タイム」を使って正しく漢字を書く習慣づけをし、家庭学習で継続して漢字の練習に取り組ませる。
- ⑤ローマ字の読み書きの練習を継続して取り組ませる。
- ⑥家庭と連携を取り、読書を家庭でも増やしてもらう。また、毎日の音読練習に協力をしてもらう。

算数

○県平均を大きく上回っている。
○4年生で学習した内容の理解や計算力は、県平均を大きく上回っている。特に図から面積を計算して求める問題や立体の展開図をかく問題や、計算して角度を求める問題の正答率は県平均をかなり大きく上回る。
○どの内容・領域も県平均を上回る。特に量と測定が県平均を大きく上回るが、単分量あたりの問題で何がもとにする量なのかを注意深く読み取ることは不十分である。
○全体的に学習したことをそのまま問われる問題の正答率は高いが、表現を変えた問題の正答率は低い。

★今後の対応

- ①自分の考えを図や式や文章で表現する活動を常時取り入れ、考えの理由や根拠を説明させながら学習をする考える授業づくりに取り組んでいく。
- ②個に応じた指導を続け、基礎的な内容の定着を図る。
- ③多種多様な問題を数多く取り組ませることによって、応用力を身につけさせる。
- ④時間配分を考えて問題を解くことができるように普段のテストやプリントを通して経験を積ませる。

“ 継続は力なり ” (芦刈小の児童の学力向上に向けて)

毎週火曜と水曜の朝の時間は「10分間の読書＋のびのびタイム(10分間の計算)またはよみときタイム(文章を読んで自分の考えを書く活動)」、同じく木曜は「読書＋スピーチタイム」、水曜日の午後15分間は「漢字タイム」を、全校一斉に行っています。3、4年生は総合的な学習の時間の一部を利用して、読解力をつける「よみときタイム」に取り組んでいます。

社会

○県平均とほぼ同じである。
○「身近な地域」が県平均を大きく上回っている。特に地図記号が表す意味や地図の方位はよく理解できている。
○佐賀県の地図から小城市を探すことや佐賀県の位置を言葉で表すことや、資料活用力を問う問題が不十分である。

★今後の対応

- ①授業で、自分で調べまとめる活動を多く取り入れ、確かめの問題をさせることで知識の定着を図る。
- ②問題や資料を丁寧に読み取る活動を増やし、考える場面を取り入れていくことで、さらに理解を深めさせる。
- ③地図を見る機会を増やしたり、地名クイズなどの活動を取り入れたたりして、地図に親しませる。また、地図と自分の住んでいる地域と結びつけながら、見学や調査活動、新聞にまとめる等の体験活動を取り入れる。

理科

○県平均をやや下回っている。
○「物質とエネルギー」の領域では、県平均をやや下回っていた。特に、空気と水の体積の問題で、体積というキーワードを使って理由を述べる問題や実験方法・結果について記述する問題につまずきが見られた。
○「生命・地球」の領域では、県平均とほぼ同じである。しかし、季節の変化に伴う動植物の様子の理解が不十分だった。

★今後の対応

- ①実験・観察の目的意識「何を明らかにする実験・観察なのか」をしっかりとさせる。また、予想をたてさせてから実験・観察の方法を考えさせるなど、見通しをもって学習させる必要がある。
- ②実験や観察の結果から分かったことを説明するコミュニケーション活動や文章に表す活動を取り入れる。
- ③自然観察を伴う学習では、ビデオやインターネット等の視聴覚教材を活用し、児童自身に実感させ理解を深めさせる。

